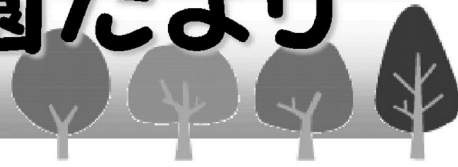


旭川敬老園だより



第78号

岡山市北区祇園866
特別養護老人ホーム
旭川敬老園
発行責任者 森 繁樹
電話 (086) 275-4349



ご家族と一緒に鍋を囲んで忘年会。飲んで、食べて、笑顔がいっぱいのひとときとなりました。

新年あけましておめでとうございます。今年も全国的にも穏やかな天気に恵まれました。さわやかな新年を迎えた方が多かったのではないのでしょうか。さて、今年四月から消費税率が5%から8%に、さらに来年十月からは10%に引き上げられることとなっています。その背景には、急速に進むわが国の少子・高齢社会の進展という現実があります。二〇一三年(平成二十五)十二月現在、六十五歳以上の人口の占める割合は二十五・二%、七十五歳以上人口の比率は十二・三%となっています(推計値、出典：総務省統計局)。この数字が二〇二五年にはそれぞれ三十三・三%と十八・一%になります。そして、その後は人口そのものも急速に減り、二〇五〇年には人口が約九千七百万人(現在の約一億二千七百万人から三千万人も減少)、高齢化率は三十八・八%になると予測されています。正直なところ、全く想像もつかないような社会の姿だといえるのではないのでしょうか。では反対に、四十年前に遡ってみるとどうでしょう。国勢調査のデータに基づけば、一九七五(昭和五十)年のわが国の総人口は一億二千二百万人、六十五歳以上人口の比率は七・九%、七十五歳以上は二・五%でした。しかし、現在と当時と比較してもっとも驚くべきことは、日本人の「長命化」です。一九七五年当時、百歳以上の人は全国に五百七十四人しかおらず、九十五歳以上であれば一万人弱だったのが、約三十四万人へと増大しています。施設にいたる高齢者の人たちが「昔は九十を超えようという人は珍しかった」という言葉の意味が、この数字を見て改めて理解できました。

本来は、高齢化も長命化も人間にとっては望ましいことであるはずですが、年を取れば取るだけ病気がちにもなってきますし、身体的な機能も衰えてきます。今や持続可能な社会保障制度といったことを超えて、私たち国民自身が長生きの意味や高齢期の生きがいについて、一人ひとりが真剣に考える時代を迎えたのもしれません。

新しい一年を迎えて

園長 森 繁樹

新年のご祈念



津田先生にお越しいただき、恒例の新年のご祈念を一月十四日に行いました。お祓いの後、先生から「今年はずいぶん、何歳になっても希望を持って、ウマク、颯爽と走っていきましょ」とのお話をいただきました。

ショートステイ通信



十二月上旬にグリーンシャワー公園へ紅葉狩りに行きました。その日はポカポカと温かく散歩日和。ゆつくりと山々を眺めることが出来ました。赤や黄に色づく葉や木々を見つめ「いろんな色があつて綺麗ねえ」と感嘆の声がもれました。自然や季節を感じ素敵な笑顔も。帰園後は集めた紅葉や銀杏の葉でしおりを作りました。

おめでとうございます

この度、旭川荘アートギャラリー一開設記念第四回特別展にて、旭川敬老園より、特選に藤原勉様の「夕焼け」が選ばれました。受賞おめでとうございます。これからも素敵な作品をたくさん描いて下さいね。



百歳のお祝い...

昨年十月二十八日、三月で百歳を迎える藤原美子様のお祝いに、本人リクエストのステーキ会食を行いました。仲の良い入居者や家族の方も参加され賑やかな食事会となりました。ご本人も大変喜ばれていました。また、十二月十八日、この日百歳を迎えた武田清子様へのお祝いのために、岡山県知事と岡山市長から賞状と記念品が届きました。ご家族の方の出席のもと、地域交流ホールにて入居者の皆さんと職員でお祝いをさせていただきました。藤原様、武田様、ますますお元気で長生きされますことを願っています。



医療福祉学会発表タイトル

12月12日、13日に第31回旭川荘医療福祉学会が行われ、旭川敬老園からは以下の6題を発表しました。

- ◆高齢者介護における介護者の人権、ハラスメント意識に関する調査
- ◆「介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修」の実施状況について、研修の現状と今後の課題、特別養護老人ホームにおけるユニットケア推進の取り組み、他施設見学から見える気づきと課題、利用者の閉じこもりを作らない生活空間を目指して、他職種との連携で実践してきたこと
- ◆要介護高齢者への生活リハビリテーションの視点「動くこと」の支援から「生活」の充実に向けて
- ◆特別養護老人ホームにおけるユニットケアとリハビリテーション
- ◆介護職員と作業療法士の連携について

家族会



家族会 清掃活動



前田会長

昨年は、夏祭り前の草取り・グラウンド整備、年末の大掃除・忘年会等々、ご家族の皆様方には大変お世話になりました。ご参加頂ける人数も、会を重ねる毎に増え、年末の大掃除には四十三家族ものご参加をいただき、感激と共に、感謝をしております。今年も、ご家族の皆様方との交流の場を可能な限り続け、園とのパイプ役のお役に立てればと思っております。どうぞご理解と、ご協力をよろしくお願い致します。(家族会会長 前田輝之)

